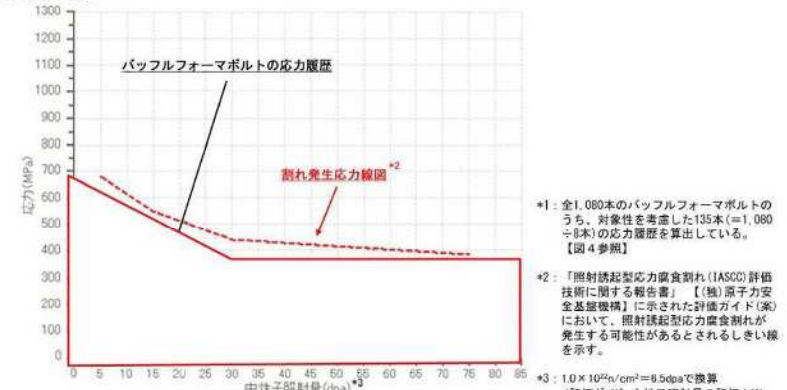
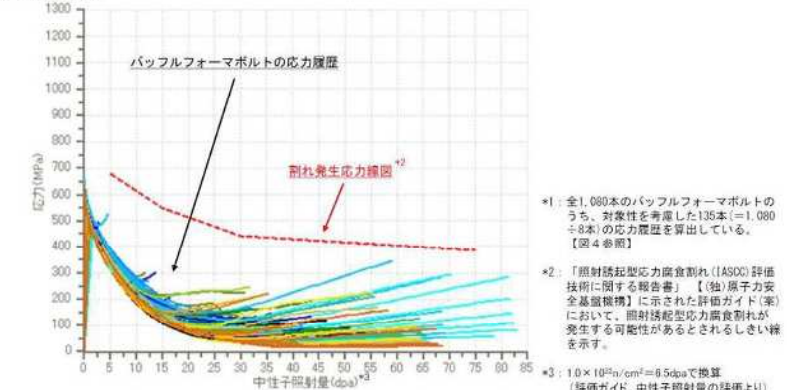


非公開情報の見直しに係る比較表

資料名称	非公開情報箇所
第4回分科会 資料3 P.9	バブルフォーマボルト（全数）の応力履歴
見直し前	
<div data-bbox="224 526 1075 566" style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;"> 照射誘起型応力腐食割れ 9 </div> <p data-bbox="224 574 1075 598"><評価ガイド(案)に基づく評価結果></p> <p data-bbox="224 598 1075 646">評価の結果、運転開始60年までにバブルフォーマボルト（全数^{*1}）の応力履歴が割れ発生応力線図を超えることはなかった。</p>  <p data-bbox="336 1045 1075 1069">図6 バブルフォーマボルト（全数）の応力履歴と割れ発生応力線図の重ね合わせ結果</p> <p data-bbox="761 1069 1075 1093">内は商業機関に係る事項であるため公開できません</p> <p data-bbox="806 837 1075 901">*1：全1,080本のバブルフォーマボルトのうち、対象性を考慮した135本(=1,080÷8本)の応力履歴を算出している。【図4参照】</p> <p data-bbox="806 909 1075 1005">*2：「照射誘起型応力腐食割れ(IASCC)評価技術に関する報告書」【(独)原子力安全基盤機構】に示された評価ガイド(案)において、照射誘起型応力腐食割れが発生する可能性があるとして示されるしきい値を示す。</p> <p data-bbox="806 1013 1075 1045">*3：$1.0 \times 10^{22} \text{ n/cm}^2 = 6.5 \text{ dpa}$で換算（評価ガイド、中性子照射量の評価より）</p>	<div data-bbox="1120 526 1971 566" style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px;"> 照射誘起型応力腐食割れ 9 </div> <p data-bbox="1120 574 1971 598"><評価ガイド(案)に基づく評価結果></p> <p data-bbox="1120 598 1971 646">評価の結果、運転開始60年までにバブルフォーマボルト（全数^{*1}）の応力履歴が割れ発生応力線図を超えることはなかった。</p>  <p data-bbox="1232 1045 1971 1069">図6 バブルフォーマボルト（全数）の応力履歴と割れ発生応力線図の重ね合わせ結果</p> <p data-bbox="1702 837 1971 901">*1：全1,080本のバブルフォーマボルトのうち、対象性を考慮した135本(=1,080÷8本)の応力履歴を算出している。【図4参照】</p> <p data-bbox="1702 909 1971 1005">*2：「照射誘起型応力腐食割れ(IASCC)評価技術に関する報告書」【(独)原子力安全基盤機構】に示された評価ガイド(案)において、照射誘起型応力腐食割れが発生する可能性があるとして示されるしきい値を示す。</p> <p data-bbox="1702 1013 1971 1045">*3：$1.0 \times 10^{22} \text{ n/cm}^2 = 6.5 \text{ dpa}$で換算（評価ガイド、中性子照射量の評価より）</p>
見直し理由	プラント固有の条件（炉心パターン）に基づくバブルフォーマボルトの損傷予測を記載した機微情報に該当するめ、非公開情報としていたが、メーカーと協議し公開情報とする。